

立命館大学技術士会第9回総会【総会挨拶】

立命館大学技術士会会長の大森でございます。第9回総会に先立ちまして、ご挨拶申し上げます。

はじめに、6月18日に発生しました大阪府北部を震源とする地震により亡くなられた方および被災された方々に対し、心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

さて、研究者の最高資格が博士であるとするれば、「技術士」は実務者の最高資格であり、技術士資格を取得することで、理想的な技術者と認定される、といっても過言ではないでしょう。立命館大学技術士会の目的は、理工系学部を卒業された校友の技術者としてのキャリア形成の中で、「技術士」資格という面からサポートしていこうとするもので、具体的な活動として、

- (1) 大学と連携して、現役の学生に先輩技術士から、技術者としての職務と技術士の役割を講演してもらい、工学技術者はどうあるべきかという技術者教育を行っています。
- (2) これから技術士を目指す校友へ、二次試験の筆記から口頭試問までの試験の指導・支援を行っています。
- (3) 会員技術士の皆様には、親睦の場の提供のみならず、CPDも視野に、分野の異なる講師を招いての講演会や技術研鑽の場の開催および発表機会の場として会報の発行をおこなっています。

これら3つの活動に、会員の皆様のご理解とご協力、ならびにボランティアとして積極的に活動いただいている当会の幹事のご努力に対して、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年より、当立命技術士会は、東京工業大学や早稲田大学等30校の大学技術士会が加盟している「大学技術士会連絡協議会」に加入することとしました。

その中で、2017年度の技術士二次試験の結果資料を日本技術士会から提供されました。出身大学別に出ております。全合格者は3,501名でしたが、立命館大学および大学院出身者の合格者は大学順位13位の46名という上位の結果となっております。

毎年、新たに30～40名近くの方が技術士になられています。会員の皆様の周辺に立命館大学卒業生の技術士がおられましたら、是非、当会にご入会のお声掛けをお願いいたします。

これからも当会の目的と役割を確認しつつ、技術士の社会的地位の確保・向上と立命館大学の継続的な発展に向けて、活動して参りますので、皆様方のご理解とご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。